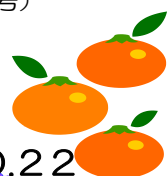


わかやま3・3より情報



NO.22

〒640-8034 和歌山市駿河町35番地 和歌山県身体障害者総合福祉会館4F

TEL 073-421-6311 FAX 073-421-6411

ホームページ <http://www.kisweb.ne.jp/wakayama-tyoukaku/>



第25回手話通訳士試験に 2名が合格しました



去る1月30日、第25回手話通訳士試験結果が発表され、和歌山県から崎まゆみさん、長尾美和さんが合格されました。和歌山県の手話通訳士は34名となりました。

☆崎まゆみさん

今回の試験も自分ではとても出来が悪かったので、合格通知を見ても信じられない気持ちでいっぱいです。ずっとご指導・応援いただいているたくさんの方々には、大変ご心配とご迷惑をおかけしてきました。

それでも気長に待ち続けていただいたこと、心より感謝いたします。

まだまだ未熟な私ですが、少しでも手話を必要とする方々の力になれるよう、さらに勉強していきたいと思っています。今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。



☆長尾美和さん

「どうせ合格なんて無理やろ」とあきらめそうになる私を、いつも支え励ましてくださった通訳の先輩方や仲間たち。皆さんのおかげでここまでくることが出来ました。本当にありがとうございました。

今、喜び・安堵感と同時に不安も抱いています。技術、知識、発言力や判断力。足りないことだらけなのに大丈夫なの？と・・・。

でも、そんな弱い自分には絶対に負けません！向上心・謙虚さを忘れず、精一杯頑張ります！

どうぞ、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



事業報告



平成26年度和歌山県手話通訳者養成講座の終了について

平成26年7月6日（日）から平成27年2月8日にかけて、和歌山市において和歌山県手話通訳者養成講座を全17回（実践12回）実施しました。「手話通訳者I」は30名、実践課程は20名が受講されました。

実践課程の受講者を対象に、昨年12月6日に手話通訳者全国統一試験が実施され、19名の方が受験されました。このほど合否の発表があり、下記の2名が合格されました。おめでとうございます！今後のご活躍を期待しています。

○大代聖子さん（新宮市） ○菊地めぐみさん（和歌山市）



平成26年度和歌山県手話通訳士養成講座の終了について

平成26年7月12日(土)から、和歌山市において6回実施しました。12人が受講され、読み取り実技、聞き取り実技、制度等について学習しました。

平成26年度和歌山県手話奉仕員養成講座 基礎課程の修了について

平成26年6月8日(日)から、和歌山市において10回実施し、10月26日(日)に修了式を行いました。30人(35人中)の方が修了されました。

次のステップに進まれ、今後は手話通訳者を目指して学習されますことを期待しております。

平成26年度和歌山県要約筆記者養成講座の終了について

平成26年7月23日(水)から12月17日(水)まで和歌山市において13回実施しました。手書きコース22人、パソコンコース10人の方が受講されました。

平成27年度は、前期を修了された方を対象に後期課程を実施します。

要約筆記者を目指して、さらに技術を高められますことを期待しております。

平成26年度IT講習会の終了について

平成26年12月4日(木)から和歌山市において、初級クラス、中級クラス各4回実施しました。初級クラスでは、簡単な文書作成、年賀状作成など、中級クラスは、エクセルや電子メールの送受信などを学習しました。参加延べ人数は、39名でした。

平成26年度文化教室の終了について

平成26年6月9日(月)から月一回開催しています文化教室は、「陶芸教室」(4)、「NHK見学」(23)、「気象について」(15)、「着物の染色工房 栗山工房 見学について」(14)の内容で開催しました。
()は参加人数

来年度も、体験や見学等の内容で実施予定です。

情報支援ボランティア養成講座の終了について

平成27年10月24日~26日に開催される「紀の国わかやま大会」に向けた情報支援ボランティア養成講座を開催しました。4月から8月の期間で手話ボランティア対象に7講座(各2時間)×7会場(延べ98時間)実施、延べ2,610人が受講。要約ボランティアを対象に2講座(各5時間)×6会場(延べ60時間)を実施、延べ447人が受講されました。

いよいよ、今年の秋に迫った大会に向けて、情報支援ボランティアの皆様、よろしくお願いいたします。



お待ちしております！～紀の国わかやま大会～

この10月、和歌山県において、障害者スポーツの祭典である全国障害者スポーツ大会(紀の国わかやま大会)が開催されます。本番まで残すところ半年。前回、全国身体障害者スポーツ大会として本県で開催されたのが昭和46年ですから、実に44年振りとなります。久々の全国大会とあって、この大会に参加するボランティアの方々の意気込みは相当なもので、その数も運営関係でざっと2千人超。聴覚に障害のある方々のコミュニケーションを支援するいわゆる情報支援ボランティアも700人余と相当数に上っています。(次ページへつづく)

今、この大会を所管する県や市町村、関係競技団体などは、もとよりその準備に余念がないようですが、私もセンターでも大わらわの状態となっています。しかしながら、全国から参加される選手の方々が、何らの不安なく競技に臨むことができ、そして県内外からお集まりになる聴覚障害者の方々を温かくお迎えし、期間中安心して過ごしていただくとともに和歌山の良さを県内外に大きくアピールしていただく、このためにはセンター職員一同以前にも増して頑張っていかなければと思っていますところでは。

「わっ！が山ほど和歌山県」
皆様方のお越しを心からお待ちしています。

和歌山県聴覚障害者情報センター
所長 谷 脇 敬 二

もうご存じですか？

緊急通報システム 「WEB119」

聴覚や音声／言語機能に障害のある方が、火事や救急車を呼びたいとき、これまでは、FAX やメールで通報していましたが、今年の4月1日から1部の自治体（下記参照）でスタートします「WEB119」に登録すると、外出先でもメールよりも簡単に通報できるように携帯電話やスマートフォンのインターネット機能を利用して通報できるようになりました。

- 携帯や自宅PCからweb方式により通報が可能(事前登録が必要)
- 携帯位置情報を付加された通報が可能
- 通報後の連絡はweb上のチャット方式により情報交換が可能



和歌山市 海南市、岩出市、紀の川市、紀美野町にお住まい、または通勤通学の方で聴覚障害または音声・言語機能障害のある方が対象でご利用できます。

※上記以外の地域からでも通報は可能ですが、その地域を管轄する消防本部に連絡をしての対応になりますので少し対応が遅れる可能性があります。

このサービスは登録制となっています。

和歌山市、海南市、岩出市、紀の川市、紀美野町の所定の窓口、各障害のある方の支援を担当する課で行います。

サービスを開始した自治体が、説明会や登録案内を開催していますが、まだまだご存じではない聴覚障害者の方もいらっしゃるかと思います。周りに聴覚・言語障害者の方がいらっしゃいましたら、お伝えしていただけますようご協力をお願いします。

ビデオライブラリー貸出状況(26年4月~27年3月)

(団体含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出人数	3	1	0	4	1	0	0
貸出本数	9	4	0	58	4	0	0

	11月	12月	1月	2月	3月	累計
貸出人数	1	1	1	0	1	13
貸出本数	3	3	4	0	4	89



新しいビデオが入荷しました



33作品が新たに入荷しました。一部ご紹介いたします。

なお、ご登録いただいている方対象に最新のビデオライブラリー目録22を3月末に送付予定にしていますので、そちらでもご確認いただくことができます。ぜひご利用ください。

★AA-714

『それいけ！くいしんぼ～黒潮市場でBBQ～』

CS障害者放送「目で聴くテレビ」で2015年3月3日放送された「それいけ！くいしんぼ」。和歌山ポルトヨーロッパの黒潮市場で売られている魚介をバーベキューしていただきます。

★DA2014-051 DVD

『サラリーマンライフ』

近年、ろう・難聴者の企業への就職は年々増え、職業分野も多様化している。ろう・難聴者と共働く職場環境づくりに取り組んでいる会社を取材し、ろう・難聴者と聴者がコミュニケーションを図ることができ快適に働くことができる職場環境とは何か、そして、その環境をどのように整えているかを紹介する。今村彩子監督作品。

★DA2014-036 DVD

『ろうを生きる難聴を生きる 障害者差別を解消するために～第61回全国ろうあ者大会 in 山形～』

山形で開催された第61回全国ろうあ者大会。平成25年は、障害者総合支援法が施行され、さらに障害者差別解消法が国会で成立した。障害者への差別をなくし権利を守るために、今後何が必要なのか。基調講演やパネルディスカッションの様態を伝える。

★DA2014-041

『ろうを生きる難聴を生きる災害に備える～映画「生命のことづけ」から学ぶ～』

早瀬憲太郎監督の映画「生命のことづけ—死亡率2倍 障害のある人たちの3・11—」では、東日本大震災での障害者の死亡率が住民全体の死亡率と比べると2倍だった事実が語られている。早瀬監督と日本障害フォーラム・藤井克徳さんとの対談を通して、災害時に生きのびるためにはどうしたらよいかを考える。

★EB2014-001～005

『にほんごであそぼ』

日本語の豊かな表現を紹介し、遊びを通じて「日本語感覚」を身につける番組。視聴対象は2歳から小学校低学年くらいの子どもと親。クイズや歌のほかに、狂言の型や古典文学なども取り入れて、さまざまな日本語の世界を紹介している。